



## 研修会等への

### 講師派遣

(平成七年二月～三月)

○平成六年度農業委員等地区別研修会

主催 北海道農業会議

とき 平成七年二月九日(羽幌町)

テーマ 「新たな環境に立つた地域農業・経営の展開方向」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○JA智恵文冬期農業講座

主催 JA智恵文

とき 平成七年二月一四日

テーマ 「地域農業活性化の課題と方向について」

北緯45度の条件を活かした複合

経営の取り組み  
講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○北海道トラック協会・農産部会研修会

主催 北海道トラック協会

とき 平成七年二月一六日

テーマ 「道産移出農産物の輸送の実態と課題」

講演者 荻間 昇(北海道立中央農業試験場・流通経済科長)

○北海道生産連会研修会

主催 北海道生産連会

とき 平成七年二月一八日

テーマ 「系統組織における生産技術指導体制の現状と課題」

講演者 田淵 直子(当研究所・嘱託研究員)

○平成六年度グリーンサークル推進事業活動

主催 清里町プライズクラブ・清里地区農業改良普及センター

とき 平成七年二月二日

テーマ ●基調講演:「畑作農業の課題と展望について」

(清里町農業講座と合同)

●意見交換会:「今後の大規模畑作経営のあり方」

講演および助言者 富田 義昭

(当研究所・常務理事)

○清水町農業経営者懇話会21・設立総会記念講演会

主催 清水町農業経営者懇話会

設立準備委員会

とき 平成七年三月三日

テーマ 「ここが問題/清水町の農業」

講演者 吉野 宣彦(当研究所・専任研究員)

○知内町農業青年フロンティア事業研修会

主催 知内町・知内町農業委員会

とき 平成七年三月一四日

テーマ 「知内町農業の将来方向」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○地域農業技術センター連絡会議

研究交流会講演

主催 地域農業技術センター連絡会議

とき 平成七年三月一〇日

テーマ 「地域農業技術センターに求められるもの」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○蘭越町地域活性化講座

主催 蘭越町

とき 平成七年三月一〇日

テーマ 「生産地消費の拡大は、地域活性化のキーワード」

「地域を見つめて楽しむマチおこし」

講演者 田畑 弘子(コープさつほろ生活文化研究所・所長)

○南富良野町農業講座

主催 南富良野町

とき 平成七年三月二七日

テーマ 「野菜の産地形成の課題と取り組みの方法」

「農業生産にみる光りと影、持続的農業と発展の方向」

講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

## お知らせ

当研究所・第五回通常総会の開催

日時・平成5年5月31日(水)

午後1時30分

場所・共済ビル7階 飛鳥の間

(札幌市中央区北4条西1丁目)

総会終了後、記念講演を予定しております。

演題・『輸入自由化と地域農業』

講師・立正大学経済学部教授

(前・東京大学教授)

森島 賢 氏

事務所の移転

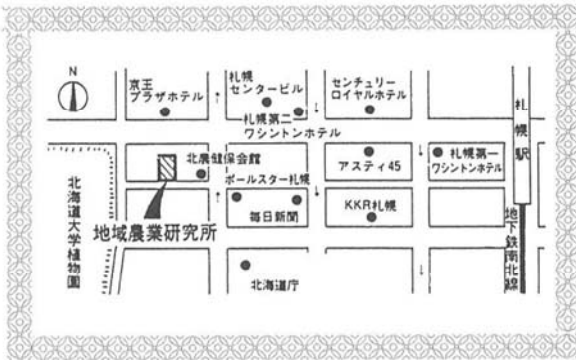
5月1日から下記の新事務所で業務に取り組んでおります。

(郵便番号0600)

札幌市中央区北4条西7丁目

北海道厚生連 別館5階

TEL(0111)281・2566  
FAX(0111)281・2707



## DATA FILE

### 関連事項 / DATA

北海道大学農学部

〒060 札幌市北区北9条西9丁目

☎011(716)2111

豊富町役場

〒098-41 天塩郡豊富町字上サロベツ2542-2

☎0162(82)1001

美瑛町役場

〒071-02 上川郡美瑛町本町4丁目6-1

☎0166(92)1111

中標津町農業協同組合

〒086-11 標津郡中標津町東7線南2丁目1番地

☎0157(2)3275

北海道立中央農業試験場

069-13 夕張郡長沼町東6線北15号

☎01238(9)2001

## 後 編 集 記

○風薫る五月。水田でも畑でも、春の植付け作業が急ピッチで進められている時節に、『地域と農業』17号の編集も大詰めを迎えることができました。

●本号の特集は、北海道の各地で逞しく『農』と向き合い、こころ豊かに生活に勤しんでおられる五人の方に、それぞれの経営や生活の実体験を通して、提言を披瀝していただきました。

地域や大地にしっかりと足場を固めて、その上で示される事実は迫力に溢れ、強い感動を呼び覚まされた思いがします。  
農作業が多忙を極める中、ご執筆の労を煩わした皆さんに厚くお礼を申し上げます。

○同時に、それぞれで『農』のネットワークが様々に形づくられており、逞しくもこころ豊かな農業者が全国各地に多数おられることをあらためて実感させられました。

●エッセイで田中さんには、ブラジル農業・農協の最新事情を。三友さんのご講演からは、触発される多くの事柄がありました。本号から「ときの話」を、ご執筆いただく長尾さんもふくめて、ご協力に深謝いたします。

○冷たい逆風が『農』の行く手に立ちただかっていることも、確かな事実ですが、スクラムをしつかり組み合うことで展望が開けると思われてもきませんが、いかがお感じでしょうか。 (K・T)